

このレポートは3部構成になっています。
1.手紙 2.病理組織検査報告書 3.体験談レポート

川崎 知加 (31歳)

斎藤先生はじめ病院の皆様

前略

先生、皆様いかがお過ごしですか？

私は一年前とはまるで別人の様に希望を持って生きています。東京医科歯科大学の先生による定期検診もその後異常はなく、とても安心してます。

本来ならもっと早くお礼を申し上げるべき所でしたが、末梢神経炎をわずらい、最近やっと普通に字が書ける様になり、風が冷たくなるに従い、1年前の事が昨日の事の様に思い出され、早くお便りをしなければと心のはやるまま筆をとりました。

今思えば、私は本当にラッキーでした。

この病院を知っているかいないかで一生が変わるのですから。そして私のそばにこの病院の存在を知る人が居たことを考えると、これだけは神様に感謝せねばと思っています。

そして今、一年前とまるでちがう私が元気で、女性としての自信に満ちあふれて毎日を送っています。

この私がこの様に生きていられるのは、斎藤先生に新しい命をいただいたからです。本当にそう思います。新しいきらきらとした生まれたての命を先生は私に与えてくださいました。どんなにお礼を言ってもどんな言葉で表現してもこの気持ちは伝えきれないだろうと思います。

これ程尊い職業はないと言うのになぜ国、医学会が認めないのか、私にはまったく理解できません。残念な事です。私の両親もまだ信じてはいない様です。本当に私の母の非礼を心からおわびいたします。ですが、何だかんだと言いながら、頭のかたいこの親が居なければ、あの手術は受けられなかったということも事実ではあります。

とにかく、私は自分の過去をふり返る事ができる余裕ができる程元気になったのです。広尾メディカルクリニックでいただいたのは、新しい命ばかりではありませんでした。その場に居たすべての人が私に優しさを教えてくださいました。

手術の日、その夜、何度も何度も鳴らしたナースコールにすぐ来てくださった白衣の天使さん。ただただ痛いと言う私の背中や腰を優しくさすってくれた手のぬくもりは一生忘れません。

本当にありがとうございました。本当にありがとうございました。

何度言っても言い足りません。言えば言う程しらじらしくなるかも知れませんが、言わずにはいられません。

先生、どうかこの仕事を一代で終わりにしないで下さい。21世紀に残してください。私がもらった命を、もっと多くの絶望の中に居る女性にも与えて下さい。与え続けてください。

これから先、私が結婚して、赤ちゃんが産まれたら、この命も先生が与えてくださった事になるのですね。何だかとても不思議です。先生が私にひとつの命を与えてくださり、その命がまたもうひとつの命を生み続ける。そう考えると至福とはこう言う事なのかなんかと思ってしまうのです。

先生、ナースの皆さん、事務長さん、本当にありがとうございました。

そしてお体を大切にしてください。

家が近いから、その内ひょっこりお菓子でも持ってみなさんに会いに行くかも知れませんが、皆さんの笑顔に又会えるのを楽しみにしています。

とりとめのない文章で恥ずかしいばかりですが、少しでも私の気持ちが伝わる様であれば幸いです。どうぞ皆様、そして先生、お元気で、尚一層の御活躍をお祈りいたします。

かしこ

川崎 知加

「病理組織検査報告書」

川崎知加 (31 歳)

病理組織検査報告書

受付1998年01月17日
決定1998年01月22日

病院名： 広尾メディカルクリニック 齋藤 敏祐 先生

患者名： 川崎 知加 殿 31歳 女

固定法 (1) 10%ホルマリン水

(2) 材料採取より固定投入まで

(イ) 直後 (時間)

(ロ) 未固定のまま提出

(3) その他

材料及び採取法： 臓器数： 1 臓器名： 筋腫核

臨床診断： (1) Myoma uteri

病理診断： Tumor mass : Leiomyoma

組織学的所見：

4 x 3 x 3 cm、15g、他 5 ケ、30g

細長紡錘形細胞が束状に配列、異型像を認めず、
degenerationもみられません。

no malignancy.

臨床診断： (2) Endometrial polyp

病理診断： Endometrial tissue : Endometrial atypical hyperplasia

組織学的所見：

endometrial glandは密に増殖、部分的にirregularな
配列を示し、核は腫大、クロマチン増量を示す
異型像がみられます。

(comment)

全体的にendometrial atypical hyperplasiaにて、部分的(表層に近い部)は高度な
異型を呈し、carcinomaに近い所見を認めます。

endometriumを再度curet tageして、検索させてください。

嚴重なfollowを望みます。

carcinoma (癌)

日本臨床研究所

「道は必ずあるはずですが、どうかあきらめないでください」

まるで「サギ」にあった様な想い

初めて産婦人科のドアをたたき、子宮内膜症と診断された。6ヶ月間のボンゾールホルモン剤治療のあと、まるで「サギ」にでもあった様な想いだった。

様態はますます悪くなっていた。「なぜ？」しばらく生理を止めていたのだから、最初はよくないのだろう。と勝手に考えていた。

ところが、良くなるどころか、悪くなる一方だ。「これはちょっとおかしい」と思った時はすでに、生理以外の時も下腹部の痛みが常に私を悩ませている状態だった。

そして次の産婦人科で、ゴルフボール程度の卵巣のう腫があると言われ、「10日間たって変化がなければ卵巣をとります。」とすぐに言われてしまった。

きつねにつままれた様な…。

私は医師と呼ばれる人の指示に従っただけなのにどうして？

そしてまた、別の産婦人科へ。また別の産婦人科へ…

どこへ行っても答えは同じ。「片方の卵巣はすぐにでも、もう一方もいずれは…」と同情する様な医師の視線が忘れられない。

助けてくれる病院はきっとどこかにはあるはずだ。

「とる」ことしかできないの？そんなはずはない。

技術大国のこの日本で、女性疾患に関する医療革新を誰も考えていないの？

きっとどこかにはあるはずだ。

私を救ってくれる医療がどこかにはあるはずだ。

私は祈る様な気持ちで、この想いにすがり、周囲に助けを求めたのです。「とらずに治してくれるお医者さまを知りませんか」と。

「とられる」とわかると、自分にとってどれだけ大切なものであったかが思い知らされる。私は一生子どもを産めない。子どもを産めない女性って、どんな風に生きて行くのだろう？

私は絶対にイヤだった。

ある物語で「男と女のちがいは何？」と言う質問に「女は子どもが産める。それが最大のちがい。」と誇らしげに答えた女の子の顔が頭をはなれなかった。私は女でありたかった。毎日祈るように情報を集めた。

遂に出会えた広尾メディカルクリニック

そして遂に広尾メディカルクリニックと齋藤先生に出会ったのです。同じ職場に居た方が、以前にこちらのクリニックのテレビ取材に立ち会われていたことを思い出してくださったのです。

「本当に？」「大丈夫？」不安で一杯だったけど、行って自分で確かめなければ、きっと後悔する。そう思い、齋藤先生に会いに行きました。

その先生の言葉こそまさに今の世に合った医師の言葉でした。「とらなくても治ります。子宮も卵巣もそのまま残るし、ちゃんと機能しますよ。」先生は自信に満ちあふれていました。多くの症例があった上での私の質問に対する解答はよどみなく、私の不安は次々晴れて行きました。

「地獄で仏！！」私は手を合わせる想いでした。

今、はつらつと毎日を生きています

平成10年1月10日。雪が降りしきる朝入院。

そして手術。今はつらつと毎日を生きています。

私は斎藤先生の勇気に感謝します。先生が居なかったら、と思っただけで背筋が冷たくなります。どうかこれからもこの医療を守って行ってください。

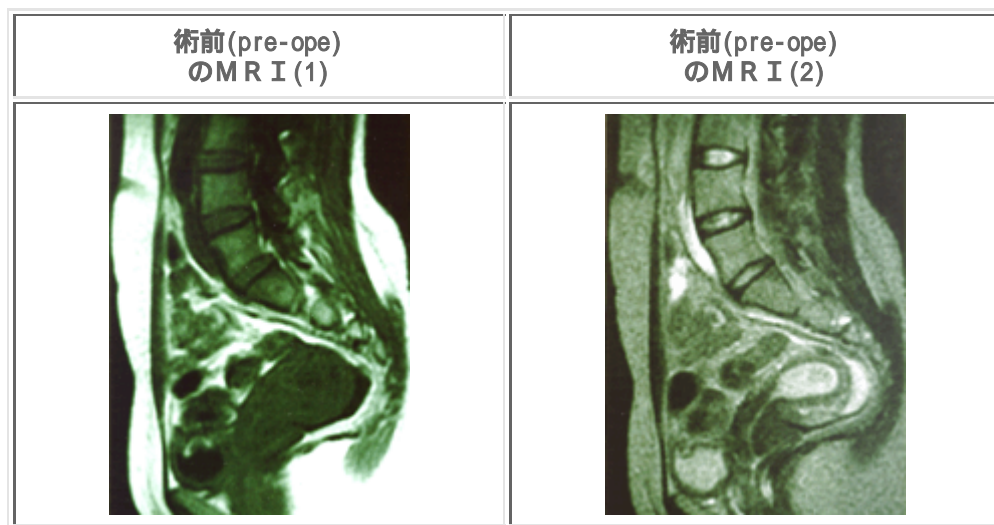
そしてこのホームページを読んでいるありとあらゆる方々へどれ程多くのお医者様の答えが「NO」であっても、どうかあきらめないでください。

女性の女たるべき機能を守ることは 人としての人生を守ることです。

そして、守ってくれる人がこの地球上に居ることを 知ってください。

道は必ずあるのです。

最後に、今こうして健康になるまでの間、励まし協力してくださった方々、何よりもこのクリニックを紹介してくださった方に心から感謝いたします。



cc : 長年にわたる生理過多、下腹痛、腰痛。S大学で卵巣・子宮全摘を告げられた。

	術前(pre ope)	術後(post ope)
赤血球(RBC)	432	510
血色素(Hb)(g/dl)	10.4	13.0
ヘマトクリット(Ht)(%)	31.9	42.1
備考	摘出物 : 子宮筋腫 30g 子宮内膜ポリープ(polyp) 5g 病理 : 内膜ポリープが癌に近い所見 本人の希望に沿い子宮を温存しながら精査を継続する為、 東京医科歯科大学に紹介。	